

伊藤格佐

号

伊藤蘆岸

いとう・かくすけ

いとう・ろがん

福山藩儒官(福山伊藤家7代)

経歴

生:文化2年(1805年)

没:慶応2年(1866年)、享年62歳

| | | |
|--------------|-----|---------|
| 文政11年(1828年) | 23歳 | 養子となる |
| 文政11年(1828年) | 23歳 | 儒者見習 |
| 天保5年(1834年) | 29歳 | 福山藩儒者本役 |

生い立ちと学業、業績

生い立ち

伊藤重蔵(梅宇)以来の福山藩儒の流れをくむ。
文化2年(1805年)、伊藤貞蔵(諱弘亨、号竹亭)の二男に生まれた。
字は格佐、諱は良有、号は蘆岸また幽讓先生。
伊藤文佐(蘆汀)の弟。

職務と業績

嫡流伊藤健蔵(長文)が文政11年(1828年)夭逝したため、その養子となり、家督、家業をつぎ、天保5年(1834年)福山藩儒員に列した。

慶応2年(1866年)没した。享年62歳。福山長者町定福寺に葬る。

伊藤家の相続

儒家としての伊藤家は、長男の伊藤揚蔵(竹塘)が嗣いで第8代を名乗った。

出典1:『福山藩の教育と沿革史 藩校から小学校まで』、137頁、清水久人著、阿部正弘公顕彰会刊、1999年8月20日

出典2:『福山の今昔』、150頁、濱本鶴賓著、立石岩三郎刊、大正6年4月26日

2006年2月24日更新:経歴・本文●2006年6月15日更新:タイトル●2008年2月13日更新:経歴・本文●2010年3月18日更新:氏名・本文・出典●2010年3月30日更新:本文●